

熱中症に関する関係閣僚会議(第1回) 議事録

1 日時

令和8年7月31日(金) 午後3時15分～午後3時25分

2 場所

総理大臣官邸4階大会議室

3 出席者

高市内閣総理大臣

木原内閣官房長官(議長)

石原環境大臣

あかま内閣府特命担当大臣(防災)、林総務大臣、松本文部科学大臣、鈴木農林水産大臣、金子国土交通大臣、仁木厚生労働副大臣、古川内閣府大臣政務官、小森経済産業大臣政務官、尾崎内閣官房副長官、佐藤内閣官房副長官、露木内閣官房副長官、阪田内閣官房副長官補、佐伯内閣官房内閣広報官、伯野環境省大臣官房環境保健部長

4 議事内容

【石原環境大臣】

ただ今より、「熱中症対策に関する閣僚会議」を開会いたします。それでは議事に入ります。私から、今年の夏の気温の状況と見通し、及び酷暑を乗り切るための熱中症対策の概要をご説明します。

資料1の2ページをご覧ください。今年の夏は、7月上旬以降、北日本から西日本にかけて気温が高く、先週7月21日から25日にかけて、東海地方を中心に、最高気温が40度以上の「酷暑日」が延べ22地点で観測されました。また、6月以降、猛暑日を観測した地点数の積算は、7月26日時点で2,907地点と、比較可能な2010年以降において、2025年の次に多い状況となっております。さらに、8月以降は全国的に気温が高く、8月前半はかなり気温が高い見込みであり、猛暑日となる所が多く、西日本を中心に酷暑日を観測する地点が出てくる可能性もあります。

4ページをご覧ください。気候変動に加え、高齢化が進行する中、国民の命と健康を守るため、熱中症死亡者の8割超を占める高齢者はもとより、子供、労働者の熱中症対策を推進しています。主に、環境省において、熱中症に対する横断的な取組を行っています。熱中症による死亡者の多くがエアコンを適切に使用していなかったことを踏まえ、室内の温度に応じてエアコンを自動的に起動するシステムなど新規技術等を活用した高齢者等へのアウトリーチの強化に関して実現可能性調査を6月末に開始しました。

具体的な熱中症対策として、関係省庁と連携し、「高齢者を守る取組」、「子供を守る取組」、「労働者を守る取組」を行っています。特に、「子供を守る取組」の一つとして、文部科学省において、学校体育館への空調整備を加速させる取組を実施しています。さらに、これらの内容を、関係省庁を通じて再度強力に発信します。

熱中症から命を守る4つのポイントについて国民に対して呼びかけるとともに、特に、熱中症になりやすい高齢者に対する周知広報の徹底を行ってまいります。最後に、政府としては、これまでも災害時における熱中症対策にしっかりと取り組んできたところであり、今般の令和8年熊本地震の避難所等での熱中症対策についても、万全を期してまいります。私(環境大臣)からの説明は以上です。

それでは、最後に高市総理大臣から御発言を頂きます。それでは高市総理、よろしくお願いいたします。

【高市総理大臣】

お疲れ様です。本日、高市内閣として『熱中症対策に関する関係閣僚会議』を設置しました。この夏の連日の「酷暑日」観測の状況を受けて、今般、『酷暑を乗り切るための熱中症対策』を取りまとめました。

この中で、特に熱中症の重篤化が懸念される高齢者、子供、労働者の皆様を守る取組を充実していきます。

対策の実効性を高めるために、熱中症対策の人員・体制の強化や、予算の十分な確保に直ちに着手してください。

特に、以下の3点について指示をいたします。

(1) 石原環境大臣におかれては、国の「熱中症対策推進事業」を拡充し、室内の気温に応じてエアコンを自動的に起動するシステムなど、新しい技術の積極的な活用・普及に向けて、技術を使っていただく利用者の拡大、「クーリングシェルター」の指定促進を含めた自治体との連携、優良事例の発信を進め、高齢者の方々を中心とした熱中症の防止対策を強化してください。

(2) 松本文部科学大臣におかれては、学校体育館等のエアコン設置率について、現状「2035年までに100パーセント」という目標ですが、これを前倒しできるよう、林総務大臣とも連携し、自治体への働きかけを強化するなど、取組を加速してください。

(3) あかま内閣府特命担当大臣においては、「令和8年熊本地震」への対応は当然のことですが、避難所における冷房機器や電源車の確保を支援し、良好な避難環境の確保の取組を強化してください。

そして、国民の皆様におかれましては、この厳しい暑さから命と健康を守るため、熱中症の予防行動を徹底していただきますようお願い申し上げます。

特に、御高齢の方は、体感では暑さを感じにくいことから、「熱中症警戒アラート」が発表された際には、

- ・こまめな水分や塩分の補給、
- ・命を守るための積極的なエアコンの使用、
- ・全国2万7,000か所を超える「クーリングシェルター」の利用をお願い申し上げます。

また、地域におきましても、御家族のみならず、地域の福祉関係者を含めて、御高齢の方への見守りや声かけをお願いいたします。

政府としても、エアコンの使用が増加する7月から9月の期間に、標準的な御家庭では3か月で5千円程度の負担軽減につながる「電気・ガス料金支援」を行っています。

とにかく、国民の皆様の命を守るため、政府一体となって、熱中症対策に万全を期してまいりましょう。以上です。

【石原環境大臣】

ありがとうございました。以上をもちまして、本日の会議は閉会といたします。

以 上